

2016年4月4日(月)

神奈川新聞 教育面掲載

ザ・チャレンジ

ザ・チャレンジ

(大学受験編)

高校受験を終えた新高1のみなさんは、これから始まる高校生活に期待と不安を抱えていることと思います。新しい学校、新しい先生や友人、部活動や勉強など、さまざまなところで環境が変化します。とりわけ、高校での勉強は進度のスピードが上がり、内容も難しくなっていきます。今回は大学受験を見据えて、高校に進学してからの勉強について話をしていきます。

高校入試では5教科をバランス良く得点することが求められ、苦手な科目が一つあるだけでかなり痛手だったと思います。しかし、大学入試では目指す大学・学部によって配点が異なり、受験科目自体も異なるため、苦手な科目を受験しないという選択肢もあります。また、国公立大学では多くが大学入試センター試験で5教科7科目を受験科目として課しますが、90%以上得点することができる得意科目があれば、他の科目をカバーすることも可能です。

A. 英語と数学を得意科目に

Q. 高校での勉強どうしたら？

特に英語と数学に関しては、センター試験においては高1・高2の学習内容が出題されるため、早期に基礎固めが重要になります。英語・数学を先行して得意科目にして高得点を確保するとともに、他教科の学習に時間を割くことができれば、大学受験において非常に優位に立てるのです。

英語と数学を得意科目にするためには、それに見合うだけの学習時間が絶対に必要です。中学に比べて圧倒的に学習内容が増えるため「定期試験前にまとめてやろう」という甘い考えは通用しないでしょう。1回の授業で進むスピードも速く、毎日少しずつ予習・復習をすることが重要となります。高校受験のために塾へ通っていた人は、学校よりも授業内容を「先取り(予習)」し、学校の授業を「受ける(復習)」ことで理解を深めていたと思います。同様に「予習をしてから学校の授業を受け、さらに自宅でも復習をする」という学習スタイルが

確立できれば、高校でもしっかりと内容を理解することができるでしょう。

また、多くの先輩たちが「英単語は早いうちから勉強しておいたほうが良い」と言うはずですが、単語テストを毎週行う学校もあるため、通学時などのスキマ時間を活用して毎日少しずつ覚えていきましょう。

何事も始めが肝心です。より良いスタートを切るためにも、困ったことがあれば周囲の人に相談をしながら自分で考え、課題を解決していくことが大切です。ただ時間だけが過ぎていくことがないように、充実した高校生活を送りましょう。

(CG高等館 東進衛星予備校)

※幼児教育から各段階の進学対応まで、多様な学び、の情報を紹介。



CG高等館 東進衛星予備校各校舎で無料配布される大学進学情報紙「トーチンタイムズ」。最新4月1日号は、難関大に今年合格した受験生のデータをもとに、難関大現役合格に必要な条件を分析。